

# 使い慣れた Excel を使ってボーリング作業日報を電子化

[① Excel でボーリング作業日報を作成]→[② ボーリングデータ作成サービスに読み込み] →[③ CALS 電子納品データ(XML 形式)&柱状図(PDF 形式)]を作成します!!

- [[Microsoft Excel]を利用した[ボーリング作業日報]作成用エディタとなります(無償提供)。
  - ▶配布および使用に制限がないため、多くのユーザによりボーリング日報を作成(=キー入力)することが可能です。
- [Excel 編集機能(簡易・無償版)]と比較して以下の点が異なります。
  - >[作業日報]タブが追加されています([作業日・天気・掘削深度・ケーシング深度・水位条件・開始 &終了時間、人員数]等を入力します)。
  - ▶ [P:孔内水位、Q1:掘削工程]タブはありません(当該項目は[作業日報]タブで入力します)。。
- ↓ (原則)ボーリング機長が日毎の作業内容を入力し(1 孔につき1ファイル)、メール添付などにより 調査担当者に送付するイメージです。
- ↓ 調査担当者は、送付された日報エクセルをボーリング作業日報として確認します。
- ↓ 送付された日報エクセルを[ボーリングデータ作成サービス]に読み込む(パターン2の契約が必要です) ことで、CALS 電子納品データ(XML形式)および柱状図(PDF形式)を作成します。
  - > Ver.3: CALS3(地質・土質調査成果電子納品要領(案)[H20.12])形式・JACIC様式柱状図に変換
  - > Ver.4: CALS4(地質・土質調査成果電子納品要領[H28.10])形式・CALS4 様式柱状図に変換

	XII 日 ち・ ♂・ [ ファイル ホーム 挿2	<u>み</u> ≂ へ ページレイアウト 数式 デ・	KC-BOR作業日華 一夕 校閲 表示 開発		cel 編	集機能は無償です	Ň
	日報調査件名	▼ : × ✓ fx 平成2	7年度〇〇水門地盤調査業務委	ŧŧ			~
	A B	C D E	F G H	I	J K		
	1 Kiso-Cloud [ボー	-リング作業日報]作成支援シン	ステム CALS(ボーリング作成	サービス)Ver.4家	讨応	Y Y	
	2			日報一覧			
	3 調査名	平成27年度〇〇水門地盤調査	業務委託			最も使いやすし	,1)
	4 ボーリング会社名	基礎地盤ボーリング株式会社		ボーリン	/グ名 H	30B-3	
	5 ボーリング責任者	基礎 太郎		地質調査技:	土登録番号 98	👐 🔰 エディタは結局	i i
	6						
		天候 掘削深度	ケーシン     <sub>万 辺度</sub>   孔内水位   <sub>水 位 冬 (</sub>	ᇁ 開始 ∦	终了 人員	Excel Cla	
C- C a o-doud.com/g	25/6 7	~ <sup>(m)</sup> 注1	(m)注1   (m)注2   小位来)	' 時間  8	寺間 数		
	8 1 2019/01/01	1 火晴れ 1.50	-	8:00	17:00 2 搬	<u>收入、仮設(平地)、1</u>	
	9 2 2019/01/02	2 水晴れ 8.45	2.00 2.55 無水	8:00	<u>17</u> 2無		-
568 77×11.588	[J] [J]	-リングデータ作成+	ナービスル語み込	んで利田	+ + 1	明川F来、20.0~、00mシンフォール kみ(健康診断)	- 1
ファイルを保存 二見 登録 A					<b>6 7</b>	翌朝水位被圧+0.1 m、φ112ケーシング23mまで挿入	
地図 図表示 図保存 DXF	13 5 (Kiso	ーCloud 利用バターン	ィ2or3 アカウントが!	<b>必要です</b> )。	扬	副作業、35.50m孔内水平載荷試験	
A:標題情報 (赤字は柱状図表示項目) 事業・工事名 00/1100	14 201 87 017 0	45.45	22.00 2.00 泥水	8.00	17:00 2 #	副作業	- 1
調査名 平成27年		0 八 雨 40.40 9 水 晴れ 50.50	23.00 3.85 泥水	8:00	14:00 2 50	8017家 0.0~5050m現場透水試験(翌朝まで)	- 1
調査目的・調査対象 調査目的 オールングター りょ	7 17 8 2019/01/10	0 木 曇りのち雨 60.33	23.00 4.66 清水	8:00	1		
ボーリング本数 ボーリン	18 9 2019/01/11	1 金晴れ 65.00	23.00 3.93 泥水	- 1°		堀	
東経	B 19 10 2019/01/12	2 土 雲り 65.00	23.00 3.90 泥水	一便	い慣れ		
北線 因得方法	20 11 2013/01/13		3.30 //6//	+(			F
19200 HELO	1 () 作業日間	報 A 標題   BCDF Xイン   E:	1 N値   K 原位置武験   L 武科		操作性!		
测地系	2 3 準備完了 SCROLLLOCK					入力 お 市 継 能	
	4 Nn 下端深度	岩名・十名(B)	色調名(C)	相対密度(F) 1	相刻	<b>NJJTHEJJIKHE</b>	T
ローカル座標 1 2	5 m		4	10.100.007	the Contraction of the Contracti		1
3	6 1 0.50 表土	上 羔	岡		吹らかい .		-
調査位置 調査位置 メッシュ	7 2 1.20 MD1:	<u>土 </u>	IX.	非尚に編い	1 <u>100000</u>	古小尚、有候貝畑Uる 不均質だ知知材	-1
発注機関 名称 墨	9 4 320 シル		黒灰	7日前150次51	次らかい	高含水のシルト	
<	10 5 4.00 砂		灰	緩い 「		きれいな中粒砂 😪	
<u>メインメニューへ</u> ログオフすると	11 6 5.00 粘土	L混じり砂 暗	灰	観い		不能土質を含まれ、	‰
	12 7 6.90 礫港	11000 暗	灰		<u> </u>		4
	13 8 7.30 粘土	E暗	i火		05		

1.	日報支援システムの取得	.1
2.	ダウンロードファイルの説明	.1
3.	Excel 編集機能(簡易・無償版)との違い	.2
4.	利用バージョン選択	.2
5.	MS Excel のマクロ設定	.2
6.	[起動]~[終了]	.3
7.	[作業日報]入力	.3
8.	ボーリングデータ入力	.4
	8.1.操作説明	4
	8.2.整列(横)	4
	8.3.[セル挿入]および[セル削除]	4
	8.4.[A 標題]	<b>5</b>
	8.5.[BCDF メイン]	6
	8.6.[E1 N 値	7
	8.7.[K 原位置試験]	8
	8.8.[L 試料採取]	8
	8.9.[01 地質時代区分]	9
9.	ボーリングデータ作成サービスの利用	10
10.	柱状-BASE.NET の拡張1	10
11.	スマホ・タブレットによる現場入力と情報共有(ご提案)	11



ボーリングデータ作成サービス・「ボーリング作業日報」作成支援システム 操作マニュアル

Ver.1.1.0 2019/06:サービス提供開始

発行所 基礎地盤コンサルタンツ株式会社 Kiso-Cloud 事務局 〒136-8577 東京都江東区亀戸 1-5-7 錦糸町プライムタワー12 階

問合先 e-mail:kiso-cloud@kiso.co.jp

### 1. 日報支援システムの取得

[ボーリングデータ作成サービス(EXCEL)]のトップページから必要なファイルをダウンロードします。

- ① [ボーリングデータ作成サービス(EXCEL)]のトップページから [ボーリング作業日報]作成支援システムのボタ ンをクリックします。→[ファイルを開く]あるいは[保存]が確認された場合は[保存]を選択します (使用ブラウザに より若干、動作が異なります)。
- ② ダウンロードファイル(KC-BOR-ExcelEditor.zip)を右クリックし[開く](あるいは zip 解凍)を選択します。
- ③ 解凍された[KC-BOR 作業日報エディタ]フォルダを適切な場所に移動します。



LIDING C X m = I		KC-BOR作業	日朝		_ 0
77イル ホーム 共有 表	<b>玉</b>	NO DOMINE	цти		
	おけけは 移動先 コピー先 削除	名前の 変更 フォルダー	新しい項目・ ショートカット・ プロパテ		が切り替う
009074−r	<sup>正理</sup> /indows (C:) → KC-BOR作業日朝	्र इ	KC	検索	
				TIX	
	A (7.00				¥ =
	1 名則			耀翔	91%
	ExcelReport.pdf		2016/08/12 9:08	Adobe Acrobat	0.00
	C-BOR作業日報.	xlsm	2019/05/27-0:00		2/2 KB
	KC-BOR作業日報	サンプル.xlsm	2019/05/27 0:00	Microsoft Excel	577 KB
	KC-BOR作業日報-	.xlsm	2019/05/27 0:00	Microsoft Excel	581 KB
	C-BOR作業日報	ーサンプル.xlsm	2019/02/		
	KCBSEEI>ジン.bx	t	0/05/27 0:00	77771 1154	
Þ 🚺 (	■ KCBSEEポーリング名	a.txt	2019/05/24	テキストドキュメント	1 Ко
1	■ KCBSEEボンプ.txt		2019/05/27 0:00	- top	1 KB
	■ KCBSEE岩土名.tx	t	2019/05/27 0:00	7#21	1 KB
	■ KCBSEE記事.txt		2019/05/27 0:00	テキストドキュメント	
	KCBSEE原位置試 KCBSEE原位置試	美名.txt	2019/05/27 0:00	テキスト ドキュメント	The
Þ 🔒	■ KCBSEE試錐機.tx	t i	2019/05/27 0:00	テキストドキュメント	1 KB
Þ 📕 I	KCBSEE試料探取.	txt	2019/05/27 0:00	テキスト ドキュメント	1 KB
Þ 🔒 :	■ KCBSEE試料採取4	l.txt	2019/05/27 0:00	テキストドキュメント	1 KB
	KCBSEE##I#	<u>4</u> .txt	2019/05/27 0:00	テキスト ドキュメント	1 KB
Þ 🏭 :	KCBSEE包調.txt		2019/05/27 0:00	テキストトキュメント	1 KB
Þ 📕 I	■ KCBSEE人名.txt		2010/05/27 0:00	テキスト ドキュメント	1 KB
	KCBSEE地層時代:	I-N.txt	2019/05/27 0:00	1000	6 KB
A 1     A	KCBSEE地層時代:	1-F4.txt	2019/05/27 0:00	テキストトキョネ	5 KB
Þ 🏭 '	KCBSEE地層時代	4.txt	2019/05/27 0:00	テキストトキュメント	A LOUGH
> 🔒 '	KCBSEE調査位置.	bit	2019/05/27 0:00	テキストドキュメント	1 KB
Þ 🔒 1	KCBSEE調査業者:	<u>z.txt</u>	2019/05/27 0:00	テキスト ドキュメント	1 KB
Þ 🚺 .	KCBSEE調査名.tx	t i	2019/05/27 0:00	テキストドキュメント	1 KB
Þ 🔒	■ KCBSEE電話番号.	txt	2019/05/27 0:00	テキスト ドキュメント	1 KB
Þ 🚹	KCBSEE土質試験.	txt	2019/05/27 0:00	テキストドキュメント	1 KB
	■ KCBSEE発注機関.	txt 📕	2019/05/27 0:00	テキストドキュメント	1 KB
N 1	1176				

5

#### 本文書(操作マニュアル)です。

CALS3 データおよび JACIC 様式柱状図を作 成する場合に利用する日報入力ファイルです。 マクロが組み込まれているため拡張子は xlsm となります(読み取り専用ファイル)。

上記入力ファイルのサンプルであり入力方法 の確認に利用します(読み取り専用ファイル)。

CALS4 データおよび CALS4 様式柱状図を作 成する場合に利用する日報入力ファイルです。 マクロが組み込まれているため拡張子は xlsm となります(読み取り専用ファイル)。

上記入力ファイルのサンプルであり入力方法 の確認に利用します(読み取り専用ファイル)。

入力補助機能で利用する選択リストです(テ キストファイルのためエンドユーザが編集 可能です)。

### 3. Excel 編集機能(簡易・無償版)との違い

[ボーリング作業日報]作成支援システム は、Excel 編集機能(簡易・無償版)を一 部修正することで構成されています。

- (1) [作業日報]タブが追加されています (「作業日・天気・掘削深度・ケー シング深度・水位条件・開始&終了 時間、人員数]等を入力します)。
- ② [P 孔内水位]タブが削除されてい ます(孔内水位は[作業日報]タブで 入力します)。
- ③ [Q1 掘削工程]タブが削除されてい ます(掘削深度は[作業日報]タブで 入力します)。

## 4. 利用バージョン選択

 CALS3(地質・土質調査成果電子 納品要領(案)[H20.12])形式データ および JACIC 様式柱状図を作成す る場合は、[KC-BOR 作業日報エデ ィタ.xlsm]を利用してデータ入力 を行い、[ボーリングデータ作成サ ービス: Ver.3]に読み込ませます。



- ② CALS4 (地質・土質調査成果電子納品要領[H28.10])形式データおよび CALS4 様式柱状図を作成する場合は、[KC-BOR 作業日報エディタ 4.xlsm]を利用してデータ入力を行い、[ボーリングデータ作成サービス: Ver.4] に読み込ませます。
- ③ [KC-BOR 作業日報エディタ.xlsm]を[ボーリングデータ作成サービス: Ver.4]に読み込ませることも可能ですが、 CALS3 と 4 では一部コード化が異なるため、正確なデータ作成のためには①②をお勧めします。
  - ※ 「ボーリング柱状図及びボーリングコア取扱い・保管要領(案)・同解説(平成 27 年 6 月)」に対応した柱 状図を CALS4 様式と称しています。



### 5. MS Excel のマクロ設定

日報支援システムでは Excel マクロを利用するため、 マクロ機能を有効化する必要があります。

- Excel のセキュリティセンターにて「マクロ設定」を [警告を表示してすべてのマクロを無効にする]を設 定することを推奨します。
- ② [警告を表示せずに全てのマクロを無効にする]を設定した場合はマクロを利用できません。

Excel マクロに対するセキュリティポリシーや設定方法については Excel 関連資料を参照して下さい(例えば、Google 等のサーチエンジンで[Excel マクロ 有効化]で検索することで多くの有効な資料を参照可能です)。



## 6. [起動]~[終了]

- ① [KC-BOR 作業日報エディタ.xlsm]あるいは[KC-BOR 作業日報エディタ4.xlsm]を、ファイルエクスプローラでダ ブルクリック、あるいは Excel を起動し[ファイル]-[開く]をクリックして選択します。
- ② マクロのセキュリティ設定により「セキュリティ警告」が表示された場合は[コンテンツの有効化]をクリックします(一度、有効化をクリックすると、次回から警告は表示されません)。
- ③ [作業日報]~[01 地質時代区分]タブをクリックし、各項目に対しキー入力します。
- ④ [KC-BOR 作業日報エディタ.xlsm]あるいは[KC-BOR 作業日報エディタ 4.xlsm]は読み取り専用ファイルのため、 データ入力後に[ファイル]-[名前を付けて保存]をクリックし、入力データに応じた別ファイルとして保存します(思 わぬデータ消失に備え、早めに名前を付けて保存し、入力中にこまめに[ファイル]-[上書き保存]をクリックするこ とを推奨します)。
- ⑤ [ファイル]-[閉じる]をクリックし入力を終了します。
- ⑥ データ更新の場合は、名前を付けて保存した日報支援システムファイルを選択しデータ更新します。

セキュリティの警告 一部のアクティブ コンテンツが無効にされました。クリックすると詳細が表示されます。 コンテンツの有効化

## 7. [作業日報]入力

従来ボーリング機長が作業日ごとに提出していた「作業日報」の一部に該当する項目です。

- ① 標題部の「調査名」「ボーリング名」「ボーリング責任者」項目は別の入力タブ[A 標題]にリンクしています。
- ② 表中の「掘削深度」「ケーシング深度」「孔内水位」は、XML 形式のボーリング交換用データに変換した際、「Q1 掘削工程」「P 孔内水位」に展開されます。未入力あるいは数値以外を入力した場合は、変換の際に無視され 情報として登録されません。
- ③ [No]列には任意の数値や文字列が入力でき、たとえばのべ作業日数等を入力します。
- ④ [作業日]の列では一番上の行を入力すると以下の行や曜日が自動修正されます。
- ⑤ [孔内水位]には、無水水位を除き毎日の作業開始時の水位を入力することを原則とします。単位は GL-m で、 被圧等で地表面より高い場合にはー(マイナス)入力します(サンプル参照)。
- ⑥ [水位条件]とは[孔内水位]を測定した際の状況で、ドロップダウンリストの「無水、清水、泥水、一」から選択します。

													-
x		5-0-D	÷.				KC-BOR作業	日報4_サンプル	.xlsm [読み	取り専用] - E>	kcel	?	XX
ファ	1.L	ホーム 挿入	~	ページ レイアウト	数式 デー	-夕 校閲	表示	開発 AC	ROBAT	F-L			
貼り	■	B I U	• <b>⊅</b> - □	• 11 •		= = *			▼ 0.00 ⊕0	★件付き テー: 書式 書:	ブルとして 式設定 ~	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	
クリッ	プボード	Fail 1	7	フォント	Gi l	配置	Ei.	数値	Es.	ス	マタイル	セル 編集	~
B	報_調査	É 🔻 : 🗡		fx 平成	27年度OC	)水門地盤記	間査業務委員	Æ					۷
	Α	В	С	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M 🔺
1	Kiso	-Cloud [ボー	リング	「作業日報」作	■成支援シス	マテム CA	LS(ボーリ)	ング作成サ	ービス)Ve	r.4対応		Ver	.1.1.0
2								作業F	報一	覧			
3		調査名	平成:	27年度〇〇水	門地盤調査	業務委託							
4	ボー	リング会社名	基礎	地盤ボーリング	株式会社				ボ・	-リング名		H30B-3	
-	ボー	リング青任者	基礎	太郎					地質調査	5技十登録	番号	9999	
5				///-/							<u> </u>		
7	No	作業日		天候	掘削深度 (m)注1	ケーシン グ深度 (m) 注1	孔内水位 (m) 注2	水位条件	開始 時間	終了 時間	人員 数	備考(作業内容)	
7	No 1	作業日 2019/01/01	火	天候 晴れ	掘削深度 (m)注1	ケーシン グ深度 (m)注1	孔内水位 (m) 注2	水位条件	開始 時間 8:00	終了 時間 17:00	人員 数 2	備考(作業内容) 搬入、仮設(平地)、1.5mまで試掘	
7 8 9	No 1 2	作業日 2019/01/01 2019/01/02	火水	天候 <u>晴れ</u> 晴れ	掘削深度 (m)注1 1.50 8.45	ケーシン グ深度 (m) 注1 2.00	孔内水位 (m)注2 2.55	水位条件 - 無水	開始 時間 8:00 8:00	終了 時間 <u>17:00</u> 17:00	人員 数 2 2	備考(作業内容) <u>搬入、仮設(平地),1.5mまで試握</u> 無水掘削自然水位水位255mで確認	
7 8 9 10	No 1 2 3	作業日 2019/01/01 2019/01/02 2019/01/03	<u>火</u> 水 木	天候 晴れ 晴れ 晴れ	<mark>握削深度</mark> (m)注1 1.50 8.45 20.80	ケーシン グ深度 (m)注1 2.00 2.00	<u>乳内水位</u> (m)注2 2.55 1.50	水位条件 - <u></u> 泥水	開始 時間 8:00 8:00 8:00	終了 時間 <u>17:00</u> 17:00 17:00	人員 数 2 2 2	備考(作業内容) <u>搬入、仮設(平地), 1.5mまで試堀 無水掘削自然水位水位2.55mで確認</u> 掘削作業, 20.0~20.80mシンウォール	
7 8 9 10 11	No 1 2 3	作業日 2019/01/01 2019/01/02 2019/01/03 2019/01/04	火水木金	天候 晴れ 晴れ 晴れ 晴れ	掘削深度 (m)注1 1.50 8.45 20.80	ケーシン グ深度 (m)注1 2.00 2.00	孔内水位 (m)注2 2.55 1.50	水位条件 - 無水 泥水	開始 時間 8:00 8:00 8:00	終了 時間 <u>17:00</u> 17:00 17:00	人員 数 2 2 2	備考(作業内容) 撥入、仮設平地).15mまで試握 無水掘削自然水位水位2.55mで確認 掘削作業、200〜2080mシンウォール 休み(健康診断)	
7 8 9 10 11 12	No 1 2 3	作業日 2019/01/01 2019/01/02 2019/01/03 2019/01/04 2019/01/05	火水木金土	天候 晴れ 晴れ 晴れ 曇り	掘削深度 (m)注1 1.50 8.45 20.80 	ケーシン グ深度 (m)注1 2.00 2.00 23.00	孔内水位 (m)注2 2.55 1.50 -0.10	水位条件 - 無水 泥水 - 泥水	開始 時間 8:00 8:00 8:00 8:00	終了 時間 17:00 17:00 17:00 17:00	人員 数 2 2 2 2 2 2	備考(作業内容) <u>搬入、仮設平地)、15mまで試掘</u> 黒水堀利自然水位水位255mで確認 掘利作業、200~2080mシンウォール 休み(健康診断) 翌朝水位被圧+0.1m、φ1120-アーシング23mまで挿入	
7 8 9 10 11 12 13	No 1 2 3 4 5	作業日 2019/01/01 2019/01/02 2019/01/03 2019/01/04 2019/01/05 2019/01/06	火水木金土日	天候 晴れ 晴れ 晴れ 曇り 晴れ	<mark>握削深度 (m)注1</mark> 1.50 8.45 20.80 	ケーシン グ深度 (m)注1 2.00 2.00 23.00 23.00	<u>乳内水位</u> (m)注2 2.55 1.50 -0.10 3.82	水位条件  無水 泥水 泥水 泥水 泥水	開始 時間 8:00 8:00 8:00 8:00 8:00	終了 時間 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00	人員 数 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	備考(作業内容) 搬入、仮設(平地)、1.5mまで試掘 黒水堀利自然水位水位2.55mで確認 掘制作業、20.0~2080mシンウォール 休み(健康診断) 翌朝水位被圧+0.1m、φ112ケーシング23mまで挿入 掘制作業、35.50m孔内水平載荷試験	
7 8 9 10 11 12 13 14	No 1 2 3 4 5	作業日 2019/01/01 2019/01/02 2019/01/03 2019/01/04 2019/01/05 2019/01/06 2019/01/07	火水木金土日月	天候 晴れ 晴れ 晴れ 雪 晴れ 晴れ 雨 石 平 王	据削深度 (m)注1 1.50 8.45 20.80 	ケーシン グ深度 (m)注1 2.00 2.00 23.00 23.00	<u>乳内水位</u> (m)注2 2.55 1.50 	水位条件 - 無水 泥水 泥水 泥水 泥水	開始 時間 8:00 8:00 8:00 8:00 8:00	終了 時間 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00	人員 数 2 2 2 2 2 2 2 2	備考(作業内容) <u>搬入、仮設(平地)、15mまで試掘</u> 無水掘削自然水位水位255mで確認 掘削作業、200~2080mシンウォール 休み(健康診断) 翌朝水位被圧+01m、Φ112ケーシング23mまで挿入 掘削作業、3550m孔内水平載荷試験	
7 8 9 10 11 12 13 14 15	No 1 2 3 4 5 6	作業日 2019/01/01 2019/01/02 2019/01/03 2019/01/04 2019/01/05 2019/01/06 2019/01/07 2019/01/07	火水木金土日月火	天候 晴れ 晴れ 晴れ 晴れ 雪り 晴れ 晴れ 雨 雨 でた	据削深度 (m)注1 1.50 8.45 20.80 	ケーシン グ深度 (m)注1 2.00 2.00 23.00 23.00 23.00	<u>乳内水位</u> (m)注2 2.55 1.50 	水位条件 - 無水 泥水 泥水 泥水 泥水 泥水 泥水	開始 時間 8:00 8:00 8:00 8:00 8:00 8:00	終了 時間 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00	人員 数 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	備考(作業内容) <u>職入、仮設(平地),15mまで紙堀</u> <u>悪水堀剤自然水位水位255mで確認</u> <u>据剤作業、200~2080mシンウォール</u> 休み(健康診断) 翌朝水位被圧+0.1m、Φ112ケーシング23mまで挿入 据剤作業、35.50m孔内水平載荷試験 掘剤作業	
7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	No 1 2 3 4 5 6 7	作業日 2019/01/01 2019/01/02 2019/01/03 2019/01/03 2019/01/05 2019/01/06 2019/01/07 2019/01/08 2019/01/08	火水木金土日月火水土	天候 晴れ 晴れ 晴れ 晴れ 晴れ 晴れ 晴れ 日 日 日 七 7 十 天 〇 一 晴 1 一 一 一 明 の 一 一 明 の 一 明 の 一 明 の 一 の 一 の 一	据削深度 (m)注1 1.50 8.45 2080 30.45 36.45 45.45 50.50 0000	ケーシン グ深度 (m)注1 2.00 2.00 23.00 23.00 23.00 23.00	孔内水位 (m)注2 2.55 1.50 -0.10 3.82 3.88 3.85 1.62	水位条件 - 無水 泥水 泥水 泥水 泥水 泥水 泥水 泥水 泥水	開始 時間 8:00 8:00 8:00 8:00 8:00 8:00 8:00	終了 時間 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00	人員 数 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	備考(作業内容) 搬入、仮設平地)、15mまで試掘 黒水堀利自然水位水位255mで確認 掘削作業、200~2080mシンウォール 休み(健康診断) 翌朝水位被圧+01m、Φ112ケーシング23mまで挿入 掘削作業、3550m孔内水平載荷試験 掘削作業 500~5050m現場透水試験(翌朝まで)	
7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17	No 1 2 3 4 5 6 7 8	作業日 2019/01/01 2019/01/02 2019/01/02 2019/01/05 2019/01/05 2019/01/05 2019/01/08 2019/01/08 2019/01/09 2019/01/09	火水木金土日月火水木金	天候 晴れ 晴れ 雪れ 雪れ 雪り 雪り 晴れ 雨 晴れ 晴れ 晴れ 雪り のち雨 雪ち	据削深度 (m)注1 1.50 8.45 20.80 	ケーシン グ深度 (m)注1 2.00 2.00 2.00 23.00 23.00 23.00 23.00 23.00	孔内水位 (m)注2 2.55 1.50 -0.10 3.82 3.88 3.85 4.66 2.02	水位条件 - 水 派水 泥水 泥水 泥水 泥水 泥水 泥水 泥水 水	開始 時間 8:00 8:00 8:00 8:00 8:00 8:00 8:00 8:0	終了 時間 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00 14:00 17:00	人員 数 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	備考(作業内容) 搬入、仮設(平地)、1.5mまで試掘 黒水堀向自然水位水位2.55mで確認 堀向作業、20.0~2080mシンウォール 休み(健康診断) 翌朝水位被圧+0.1m、Φ112ケーシング23mまで挿入 堀向作業、35.50m孔内水平載荷試験 掘削作業 50.0~50.50m現場透水試験(翌朝まで) 掘削作業	
7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18	No 1 2 3 4 5 6 7 8 9	作業日 2019/01/01 2019/01/02 2019/01/02 2019/01/05 2019/01/05 2019/01/06 2019/01/08 2019/01/09 2019/01/10 2019/01/10	火水木金土日月火水木金+	天候 晴れ 晴れ 雪り 雪晴れ 雪り 雨 雨 雨 晴れ 曇り のち雨 晴れ 雪れ	据削深度 (m)注1 1.50 8.45 20.80 	ケーシン グ深度 (m)注1 2.00 2.00 23.00 23.00 23.00 23.00 23.00 23.00 23.00	孔内水位 (m) 注2 2.55 1.50 -0.10 3.82 3.88 3.85 4.66 3.93 2.90	水位条件 	開始 時間 8:00 8:00 8:00 8:00 8:00 8:00 8:00 8:0	終了 時間 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00 14:00 17:00 15:00	人員 数 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	(備考(作業内容) 搬入、仮設(平地)、1.5mまで試掘 悪水堀利自然水位水位2.55mで確認 堀利作業、200~2080mシンウォール 休み(健康診断) 翌朝水位被圧+0.1m、4112ケーシング23mまで挿入 掘削作業、35.50m孔内水平載荷試験 掘削作業 500~50.50m現場透水試験(翌朝まで) 掘削作業 60~65.0m余堀 AM455.0mぞ立合1.3歳足、DM4.05.26.度通曲	
7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19	No 1 2 3 4 5 6 7 7 8 9 10	作業日 2019/01/01 2019/01/02 2019/01/03 2019/01/04 2019/01/06 2019/01/06 2019/01/08 2019/01/10 2019/01/10 2019/01/11 2019/01/12	火水木金土日月火水木金土日	天候 晴れ 晴れ 晴れ 晴れ 晴れ 雨 雨 雨 朝 の ち雨 晴れ 曇りの ち雨 晴れ 晴れ 雨 明 九 晴れ 明 で り い 晴れ 明 で り で 明 で の で の で の で の で の で の で の で の で の	据削深度 (m)注1 1.50 8.45 2080 30.45 36.45 45.45 50.50 60.33 65.00 65.00	ケーシン グ深度 (m) 注 2.00 2.00 23.00 23.00 23.00 23.00 23.00 23.00	孔内水位 (m) 注2 2.55 1.50 -0.10 3.88 3.88 3.85 4.66 3.93 3.90 3.98	水位条件 - 水 泥泥 泥泥 泥泥 泥泥 水 泥泥 水 泥 泥 水 泥 泥 水 、 泥 水 、 泥 水 、 泥 水 、 泥 泥 、 水 、 、 水 、 、 水 、 、 水 、 、 水 、 、 水 、 、 水 、	開始 時間 8:00 8:00 8:00 8:00 8:00 8:00 8:00 8:0	終了 時間 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00 14:00 17:00 15:00 16:00 13:00	人員 数 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	備考(作業内容) 整入、仮設(平地), 15mまで試握 素水据剤自然水位水位255mで確認 据剤作業、200~2080mシンウォール 休み(健康診断) 翌朝水位被圧+01m、Φ112ケーシング23mまで挿入 据剤作業、35.50m孔内水平載荷試験 握剤作業 500~50.50m現場透水試験(翌朝まで) 振剤作業 60~65.0m余堀 AM:65.0mで立会い検尻、PM:P8枝層補助 21関連化なり、復旧 種名込み換ま Prov.85動	
7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	No 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	作業日 2019/01/01 2019/01/02 2019/01/03 2019/01/04 2019/01/06 2019/01/07 2019/01/08 2019/01/08 2019/01/10 2019/01/11 2019/01/11 2019/01/12	火水木金土日月火水木金土日	天候 晴れ 晴れ 晴れ 晴れ 晴れ 晴れ 雪小のち雨 晴れ 雪小のち雨 晴れ 雪小のち雨 晴れ 雪小の ち雨 晴れ 雪小の ち雨 雪小 雪晴れ 雪晴れ 雪晴れ 雪晴れ 雪晴れ 雪晴れ 雪晴れ 雪晴れ	提利深度 (m)注1 1.50 8.45 2080 30.45 36.45 36.45 50.50 60.33 65.00 65.00	ケーシン グ深度 (m) 注1 2,000 23,000 23,000 23,000 23,000 23,000 23,000 23,000	孔内水位 (m)注2 2.55 1.50 -010 3.88 3.88 3.885 4.66 3.93 3.90 3.98 6.078	水位条件 - 水水 泥泥 水水 泥泥 水水 泥泥 水水水 泥泥 水水水 泥泥 泥 水水水 泥 泥 水水水	開始 時間 8:00 8:00 8:00 8:00 8:00 8:00 8:00 8:0	終了 時間 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00 14:00 15:00 16:00 13:00	人員 数 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	備考(作業内容) 撤入、仮設 平地,15mまで試掘 無水掘削自然水位水位255mで確認 提制作業,200~2080mシンウォール 休み(健康診断) 翌朝水位被圧+01m、Φ112ケーシング23mまで挿入 握制作業、3550m孔内水平載荷試験 握制作業 500~5050m現場透水試験(翌朝まで) 握制作業 60~650m余堀 AM:650mで立会い後尺、PM:PS検層補助 孔閉塞(セズント)、復旧、積み込み撤去、B-4へ移動	
7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20	No 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	作業日 2019/01/01 2019/01/03 2019/01/03 2019/01/05 2019/01/05 2019/01/05 2019/01/08 2019/01/09 2019/01/10 2019/01/11 2019/01/12 2019/01/13 2019/01/13	火水木金土日月火水木金土日	天候 晴れ 晴れ 晴れ 雪り 晴れ 雨 雨 晴 り る り の 雨 雨 晴 れ 電 り 一 晴れ 雪 晴れ 雪 晴れ 雪 晴れ 雪 晴れ 雪 晴れ 雪 晴れ 雪 晴	据削深度 (m)注1 1.50 8.45 2080 	ケーシン グ深度 (m) 注1 2.00 23.00 25.	孔内水位 (m)注2 2.55 2.55 -0.10 3.82 3.88 3.85 4.66 3.93 3.90 3.98 豪位置試験	水位条件 - 無水 泥泥水 泥泥水 泥泥水 泥泥水 泥泥水 泥泥水 泥泥水 泥泥水 泥泥水	開始 時間 8.00 8.00 8.00 8.00 8.00 8.00 8.00 8.0	終了 時間 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00 17:00 15:00 16:00 13:00	人員 数 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	備考(作業内容) 搬入、仮設平地).15mまで試握 黒水掘削自然水位水位255mで確認 掘削作業、200~2080mシンウォール 休み(健康診断) 翌朝水位被圧+01m、Φ112ケーシング23mまで挿入 掘削作業、3550m孔内水平載荷試験 掘削作業 500~5050m現場透水試験(翌朝まで) 掘削作業 60~65.0m余堀 AM:65.0mで立会い検尺、PM:PS検層補助 孔閉塞(セメント)、復旧、積み込み撤去、B-4へ移動	

(原則)ボーリング機長が日毎の作業内容を入力し(1孔につき1ファイル)、メール添付などにより 調査担当者に送付するイメージです。

# 8. ボーリングデータ入力

#### 8.1.操作説明

① 各タブの[操作説明]をクリックすると、操作マニュアル(.pdf:本資料)を表示します。 本機能を利用するためには、前もって PDF 閲覧ソフトをインストールしておくことが必要です。



#### 8.2. 整列(横)

他のタブを参照したり、同時に複数タブのデータ入力を行う場合に利用します。

- (1) [A 標題]タブの[整列(横)]をクリックすると、編集中の Excel データをコピーし横に並べます (Excel2007 では子ウ ィンドウとして横に並べます)。 大きな画面を有効利用
- ② 参照したいタブを選択し、サイズ・位置を調整します。



#### 8.3.[セル挿入]および[セル削除]

[A 標題]タブ以外では一覧表形式での入力となり、[セル挿入]および[セル削除]機能を利用できます。

- ① セルを選択し「セル挿入」をクリックすると、選択セルに空セルが挿入され、選択セル以下のデータが下方向に移動 します。
- ② 選択セル数分だけ移動するため、右図の下端深 度のように2セル選択している場合は、2セル 分の空セル挿入と 2 セル分の下方向移動しま す(右図赤枠)。
- ③ 反対にセルを選択し[セル削除]をクリックする と、選択セルのデータは削除され、選択セル以 下のデータが上方向に移動します。
- ④ [行挿入][行削除]する場合は同一行で全てのセ ルを選択します(右図青枠)。
- ⑤ マクロを無効にした場合、[セル挿入][セル削 除]はセル範囲を選択しドラック&ドロップに より選択セルを移動します。

注意:セル挿入削除に Undo/Redo は効きません。

X		5-0	- <u>C</u> =	KC-BOR	商務無償エディタ4_5	わプル.xism [読み取	り専用] - Excel		? 🗉 – 🗆 🗙
ファイ	16	ホーム	挿入 ページレイアウト 数	マゴ、 データ 校開	表示 闘	発 ACROBAT	$\neq -\Delta$		- 0
- A	X		- 11 - A	· • = = - *	~ B		1 BEL 12	「「」 御知入・	Σ· Α
Rep.et	- Ga	-		7		a	ゴミ ゴミ	デーデー 一部 前除・	↓ · ∠ · ■■     ↓     ☆  ↓     ☆  ↓
7H 711	~ A	B 1	<u>⊔</u> •   <u>⊡</u> •   <u>⊴</u> • A •	8 ·	2 4E   E + 1	= 96 × 103 +70	書式。書式語	定・スタイル・ 副書式・	≪ * フィルター * 選択 *
クリップ	ボード	ra i	フォント	5 配置		数值	. 7.9-	กม ชม	編集 ^
		¥	$\times \checkmark f_x$						v
	A	в	C D	E	F	G	н		I
1	00						1 1211/3	植入・セル剤除して	3 - 12#8h 编作1088
3	5	9				-		and the second second	XXX71840 14(19859)
4	No	下端深度	岩名·土名(B)	色紅	周名(℃)	相対密度(F)	相対稠度(F)	観察紀3	\$(D1/D2)
5	1	050	一表土	果認			#15:00 L	<b>唐蚶</b> 十	
7	2	1.20	) 粘性土	暗灰			軟らかい	含水高く、有機質混じる	
8	3		89	暗灰		非常に続い		不均質な相約砂	•
9	4		Zilak	暗黑灰			軟らかい	高含水のシルト	
10	5	2.60	)	暗灰		緩い		ぎれいな中粒砂	
11	6	3.20	) 砂	暗灰		<b>緩い</b>		不均質で粘土質を含むる	9貫土
12	7	4.00	<ul> <li>粘土混じり砂</li> </ul>	暗灰		中ぐらい		↓50mm~100mmの円森を	含むぎれいな粗粒砂
13	8	5.00	) 確混Uり砂	暗灰			軟らかい	含水高い粘質土	
14	9	6.90	粘土	暗灰		緩い		シルト分含む砂質土 目殻片を若干混入する	
15	10	7.30	) シルト濃じり砂	暗灰			軟らかい	際植物を含み、高含水の	粘質土
16	11	9.00	<ul> <li>粘土混いり砂</li> </ul>						
17	12	10.00							
18	13								
19	14								
20	15								
21	16								
22	17								
23	18								
24	19								
25	20								
26	21								
22	- 22			18 1/1 197 //1 199 1/1 199	I service the	01.19/0724			
		1 4 5	an DCD/M7 EIN	In I IS ORTHOUGH DESIGNER	L BATTSRAX	Or viperid (			F

### 8.4.[A 標題]

#### (1) 入力項目

電子納品要領「A 様式:標題情報」のうち、実際に柱状図に表示される項目に絞って入力します。また、[柱状図 様式の種類]と[経度緯度情報:読み取り精度]をリスト選択します。

注意: [A 標題]タブを削除すると正しいデータとして認識されなくなるため削除しないで下さい。

KC-BOR簡易無償エディタ4_サンプル.xlsm [誤	み取り専用: 🗆 🗙
KC-BOR 作業日報エディタ 4.xlsm 校閲 表示 開発 ACROBAT チー	△ 北緯東経は【ボーリングデータ作成サービ → □
	ス]に読み込んでから、地図上をマウスク
┃ 調査名	リックする事で、簡単に設定可能です。
A B C D E F U	
1 Kiso-Cloud [ボーリングデータ作成サービス] Excel編集機能(簡易・無償版) CALS(ボーリング作成サービス) Ver.4対応	カ補助 操作説明 整列(横) 注意:本シートを削除すると データは読み込まれません。 Ver1.1.0
2 調査名         平成27年度〇〇水門地盤調査業務委託	<u> 柱状図様式</u> 土質ボーリング柱状図様式(標準貫入試験用)
3 事業·工事名 〇〇川〇〇水門建設工事	
4 ボーリング名 B-4 調査位置 東京都江東区亀戸1丁目5-7	<b>東経:度/分/秒</b> 139 49 12.8700
5 発注機関         基礎地盤コンサルタンツ株式会社         調査期間         2019-0	5-1 ~ 2019-05-5 読み取り精度 少数部2桁
6 調査業者名 基礎地盤コンサルタンツ株式会社 主任技師 基礎 蔵人 現場代理人 基礎 オ	郎 コア鑑定者 基礎 二郎 青任者 基礎 三郎
7 電話番号 03-6861-8800 角度 方向 勾配 試錐機	KR-50
8 <u>孔口標高(m) T.P. 3.75 0 0 0 エンジン</u>	/ NS60 ポンプ V-3
	孔内水位 │ Q1 掘削工程 │ (+) : (   )
準備完了 SCROLLLOCK III	100%
RC-BOR 情報日報エディタ.xlsm         KC-BOR 情報日報エディタ.xlsm         KC-BOR 情報日報エディタ.xlsm	CALS4形式では標高基準にT.P.以外が選択 の能となるように拡張されています。
KC-BOR簡易無償エディタ_サンガル.xlsm [読       KC-BOR 作業日報エディタ.xlsm       調査名     : X          か       ご     : X          か       ご     : X          か	CALS4形式では標高基準にT.P.以外が選択 の能となるように拡張されています。
KC-BOR簡易無償エディタ_サンガルxlsm [読         KC-BOR 作業日報エディタ.xlsm         調査名       :       :       / fx       平成27年度○○水門地盤調査業務委託         A       B       C       D       E       F	CALS4形式では標高基準にT.P.以外が選択 の能となるように拡張されています。
KC-BOR開島島賃1574/サンガルx1sm [読         KC-BOR 作業日報エディタx1sm         初遊名       : <td:< td="">       :       :       :<!--</td--><td>CALS4形式では標高基準にT.P.以外が選択 可能となるように拡張されています。</td></td:<>	CALS4形式では標高基準にT.P.以外が選択 可能となるように拡張されています。
KC-BOR開湯農賃エディタ_サンガル.xlsm [E]         KC-BOR 作業日報エディタ.xlsm         調査名       :       :       が間       表示       開発       ACROBAT       チー         調査名       :<	ARDTH     CALS4形式では標高基準にT.P.以外が選択 可能となるように拡張されています。     ×       G     H     I     J     K     M     M       方補助     操作説明     整列(構)     注意: ホシートを削除すると データは読み込まれません。     Ver1.0.0           Y
KC-BOR #業日報エディタ.xlsm         KC-BOR 作業日報エディタ.xlsm         認査名       :       ・	CALS4形式では標高基準にT.P.以外が選択 可能となるように拡張されています。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
KC-BOR開製農賃工ディタ_サンガルxlsm [読         KC-BOR 作業日報エディタ.xlsm         認識者       :       ・         調査名       :       ・         方       平成27年度()       小門地盤調査業務委託         A       B       C       D       E       F         1       CALS(ボーリングデータ作成サービス) Excel編集機能(簡易・蒸價旗)       へん         2       調査名       平成27年度()       小門地盤調査業務委託         3       事業・工事名       ○)(○)(○)<小門連盤正事	CALS4形式では標高基準にT.P.以外が選択 可能となるように拡張されています。 5 H I J K L M A 力補助 操作説明 整列(横) 注意:本シートを削除すると データ13読み込まれません。 Ver1.0.0 世状図様式の短期 土質ボーリング柱状図様式 128:度/分/秒 135 41 42.9700 東経:度/分/秒 139 49 12.8700
KC-BOR開易無償エディクサンガルx1sm [読         KC-BOR 作業日報エディタ.xlsm         初直名       「         A       B         C       D         E       F         Ja       Ja         A       B         C       D         E       F         Ja       B         Claus (ポーリングデータ作成サービス) Excel編集機能(簡易・蒸馏飯)         A       B         Ja       B         A       B         C       D         E       F         Ja       B         A       B         C       D         E       F         Ja       B         C       D         E       F         Ja       B         C       D         E       F         Ja       T         Ja       T <td>AROTH A CALS4形式では標高基準にT.P.以外が選択 可能となるように拡張されています。</td>	AROTH A CALS4形式では標高基準にT.P.以外が選択 可能となるように拡張されています。
KC-BOR開想無償エディク_サンガル.xlsm [E]         KC-BOR 作業日報エディタ.xlsm         認直名       「         第       「         第       「         第       「         第       「         第       「         第       「         ※       「         ※       「         ※       「         ※       「         ※       「         ※       「         ※       「         ※       「         ※       1         ※       「         ※       「         ※       」         ※       」         ※       」         ※       」         ※       」         ※       」         ※       」         ※       …         ※       …         ※       …         ※       …         ※       …         ※       …         ※       …         ※       …         ※       …         ※       …         ※       <	ARDTH     CALS4形式では標高基準にT.P.以外が選択 可能となるように拡張されています。       6     H       7     7       2015-07-25       読み取り構度       少様に回り       7-1       2015-07-25       読み取り構度       少様に三郎       2015-07-25       読み取り構度       少様に三郎       12       2015-07-25       読み取り構度       少数12
KC-BOR開報篇信工ディタ_サンガルxbm [読         KC-BOR 作業日報エディタ.xlsm         認識者       第発         調査者       :         A       B       C       D       E       F         (i) (A) (ボーリングデータ作成サービス] Excel編集機能(簡易・無償版)       人         1       CLS(ボーリングデータ作成サービス] Excel編集機能(簡易・無償版)       人         2       調査       平成27年度〇〇水門 地盤調査業務委託         3       事業・工事名       〇川〇〇水門 地盤調査業務委託         3       事業・工事名       〇川〇〇水門 地盤到査案         6       調査者者       基礎地盤コンサルタンツ株式会社         6       調査業者名       基礎地盤コンサルタンツ株式会社         1       (36661-8800)       角度         方向       公司記       試錐機	ARDER     CALS4形式では標高基準にT.P.以外が選択 可能となるように拡張されています。       A     可能となるように拡張されています。       B     H     J       大補助     操作説明     整列(構)       注意:本シートを削除すると データは読み込まれません。     Ver1.0.0       株式回構式の種類     上載:広/分/秒     35       北緯:広/分/秒     35     41       北緯:広/分/秒     35     41       北緯:広/分/秒     35     41       北線:広/分/秒     19     49       12.8700     ア     5       水(水-50     ハンマー落下器具     トンビ法
KC-BOR開報告値エディタンDLx1sm         KC-BOR 作業日報エディタ.xlsm            旅園       表示       開発       ACROBAT       チー         調査名          :               かん       平成27年度○○水門地盤調査業務委託 <t< td=""><td>CALS4形式では標高基準にT.P.以外が選択 可能となるように拡張されています。     ×       0     可能となるように拡張されています。       0     「       1     1</td></t<>	CALS4形式では標高基準にT.P.以外が選択 可能となるように拡張されています。     ×       0     可能となるように拡張されています。       0     「       1     1
KC-BOR開想展信工ディタンガルx1sm [E         KC-BOR 作業日報エディタ.x1sm         成園 表示 開発 ACROBAT チー         調査名       :       ・         A       B       C       D       E       F         1       ご       Kiso-Cloud [ボーリングデータ作成サービス] Excel編集機能(簡易・無償類)       ○       A         2       調査名       平成27年度○○水門1地盤調査業務委託       ○       ○       ○       ○         2       調査名       平成27年度○○水門1地盤調査業務委託       ○	ARDTS     CALS4形式では標高基準にT.P.以外が選択 可能となるように拡張されています。       A     可能となるように拡張されています。       S     H       力補助     操作説明       整列(權)     注意:本シートを削除すると データは読み込まれません。       Ver1.00     程状図構成の種類       北緯:度/分/秒     35       41     42.9700       東経:度/分/秒     35       138     49       128:26     2015-07-25       読み取り構度     少数部2桁       (第)     子運室者       基礎<二郎

#### (2) 入力補助

- [A 標題]タブで利用可能な入力補助機能について説明します。
- ① [入力補助]をチェック(√) すると[入力補助・一般(ユーザ編集)]ダイアログが表示されます(上画面参照)。
- ② [調査名・事業工事名]~[試錐機・ハンマー落下器具・エンジン・ポンプ]タブをクリックし、選択リスト内の 項目をクリックすると、選択したデータが当該セルに入力されます。
- ③ [選 択 解 除]…既にリスト内の項目が選択済みの場合、クリックすることで選択状態を解除できます。
- ④ [リスト登録]…当該セルにキー入力されているデータが、選択リスト内に登録されます(②と逆動作)。
- ⑤ [リスト削除]…選択リスト内の項目を選択し[リスト削除]をクリックすると、選択リスト内から削除されます。
- ⑥ [↑][↓]…選択リスト内の表示順を変更する場合に使用します。
- ⑦ [編集中]…チェック (✓) 中は選択リスト内の項目をクリックしても、選択したデータが当該セルに入力されません。[リスト削除]や[↑][↓]に伴い当該セルを変更したくない場合にチェックします。
- ⑧ 登録処理:[上書き][追加]...②操作により選択したデータを当該セルに入力する際の動作を指定します。
- ⑨ [セル選択に追随する]…チェック(✓)中は[A 標題]タブのセル選択に、[入力補助・一般(ユーザ編集)]ダイアログ(タブ)表示が追随します。

	入力補助・一般(ユー	ーザ編集)			×
調査名·事業工事名	ボーリング名・調査位置 発注機関・調査業者名 電話番号・人名	試錐機・ハンマー落	「下器具・エンジ	ン・ポンプ	
調査名	・カレントフォルダ内の[KCBSEE調査名.txt]の内容を表示	選択解除	リスト登録	リスト削除	
平成年度;	大門地盤調查業務委託	8	4	6	60
	・カレントフォルダ内の[KCBSEE事業工事名txt]の内容を表示 役工事	選択解除	リスト登録	リスト削除	
3 登録処理:[ ○ 上書き	9 : ○ 追加 ] マ セル選択に追随する				

- 11) 選択リスト内の項目は、カレントフォルダ内にある[KCBSEE0000.txt]に登録されます。テキストエディタ を利用しての編集も可能です(サポート範囲外です)。
- ⑪ 例えば日報支援システムを(社内)配布する場合に[KCBSEE0000.txt]を編集し、選択リストの社内標準を 設定後に配布することも有効です。
- 12 ダイアログの図をクリック、あるいは「入力補助」をチェックオフすると、「入力補助・一般(ユーザ編集)」ダ イアログが非表示となります。
- ③ [入力補助]をチェック(✓) しておくと、[A 標題]タブ選択に伴い、自動的に[入力補助・一般(ユーザ編集)] ダイアログが再表示されます。

### 8.5.[BCDF メイン]

#### (1) 入力項目

電子納品要領「B 様式:岩石・土区分」「C 様式:色調区分」「D1 様式:観察記事」「F 様式:相対密度・相対稠度」の うち、実際に柱状図に表示される項目に絞って入力します。

CALS 電子納品要領では各下端深度は独立しているものとして各々別の一覧表にて入力しますが、日報支援シス テムでは「柱状-BASE/Win」と同様に各下端深度は一定として同じ一覧表にて入力します(「D2 様式:観察記事枠 線」も二層下端深度とします)。

本仕様により[ボーリングデータ作成サービス]と比較して自由度は下がりますが、入力効率は格段に向上します。

- ① [下端深度(m)][岩名・土名][色調名][相対密度][相対稠度][観察記事]をキー入力します。[相対密度][相対稠度] はリスト選択も可能です。
- ② [下端深度(m)]を未入力あるいは数値以外を入力した場合は、[ボーリングデータ作成サービス]に読み込んだ段 階で無視され、土層情報として登録されません。
- ③ [行高さ][列幅]はマウス(カーソルが十字に変わったところで)のドラッグ&ドロップにより変更可能です。 観察記事が長い、あるいは複数入力する場合は、適宜「行高さ」や「列幅」を調整して下さい。
- ④ 観察記事は改行したい個所で[Alt]+[Enter]キーを押します。



### (2) 入力補助

[BCDF メイン]タブで利用可能な入力補助 機能について説明します。 [岩名・土名][色調 名][観察記事]が入力補助対象となります。

- ① [入力補助]をチェック(イ) すると、[入力 補助]ダイアログが表示されます。
- ② 入力補助機能によりデータを入力したい セルを選択しておきます(複数セルの選 択が可能です)。



ローム 腐植土 ヘドロ 岩

[十名]入力

暗濃黒茶緑灰

褐 橙 青 白

赤黄紫藍

参照色調名

明淡

~ 色

4

ンル 料土質 有機質 火山灰質

- ③ [土名/色調名]~[色調(ユーザ編集)]タブをクリックし、選択リスト内の項目をクリックすると、選択したデ ータが選択セル欄に入力されます。
- ④ [土名/色調名]タブの[土名]選択のみ、各リストを選択し[土名]入力をクリックします(右図の場合は[砂混りシルト質粘土]が入力されます)。
- ⑤ [○○ (ユーザ編集)]タブは[A 標題]タブの入力補助と同様、既入力データをリストアップして再利用するため にあります。[選択解除][リスト登録][リスト削除][↑][↓][編集中]は[A 標題]タブの入力補助と同一です。

#### (3)[岩名・土名]入力補助

マクロ機能を利用できない(iPad/iPhoneの Excel など)環境での[岩名・土名]入力補助機 能です(右図青矢印)。

- (1) [補助名称(混)][補助名称(質)][土名]をドロ ップダウンリストから選択します。
- ② 各選択文字列が結合されます。
- ③ 結合された文字列を入力セルにコピー& ペーストします(この際、値の貼り付け を選択します)。

#### 8.6.[E1 N 値] (1) 入力項目

電子納品要領「E1 様式:標準貫入試験」項目 を入力します。

- ①[(N 値測定)開始深度(m)]および[10cm 毎買入量(CALS3形式)]あるいは[100mm 毎買入量(CALS4形式)][打撃(回数)]を キー入力します。
- ② [開始深度(m)]を未入力あるいは数値以外 を入力した場合は、「ボーリングデータ作 成サービス]に読み込んだ段階で無視さ れ、標準貫入試験情報として登録されま せん。
- ③ 合計[貫入(量)][打撃(回数)]は自動計 算されますが、キー入力による上書きも 可能です。
- ④ [開始深度(m)]を[-999.99]とし、全ての[貫入][打撃]を空白とすると(ボーリングデータ作成サービスに読み込んだ際)N値
   グラフで上下地点を線で結びません(右図青矢印)。
- ⑤ [ハンマー自沈][ロッド自沈]の場合は、[備 考]のドロップダウンリストから選択し、 10cm/100mm [貫入(量)]に貫入量(自 沈量)をキー入力して下さい。

_									
0	2	0	礫混じり	砂質	シルト	Ŧ	混じり砂質シ	NF 📊 2	
	下端 r	深度 n	岩名·:	土名(B)	砂質土 砂 粗砂	^	c)	相对密度(F)	
4		3.20	シルト		中砂 細砂			(192)	軟
6		<u>4.00</u> 5.00	砂 粘土混じり砂		粘性土 シルト			渡い 緩い	┢
2		6.90	礫混じり砂		粘土	¥		中ぐらい	
В		7.30	粘土		暗灰				軟
9		9.00	シルト混じり砂		暗灰			緩い	
þ	1	0.00	粘土混じり砂		暗灰				載
				<u>8</u>					



#### 8.7.[K 原位置試験] (1)入力項目

電子納品要領「K様式:その他の原位置試験」 項目を入力します。

- (開始深度(m)]=[試験区間:上端深度(m)]、
   [終了深度(m)]=[試験区間:下端深度(m)]、
   [原位置試験名]=[その他の試験の名称]、
   [試験結果等]をキー入力します。[原位置
   試験名]はリスト選択も可能です。
- ② [開始深度(m)]を未入力あるいは数値以外 を入力した場合は、「ボーリングデータ作 成サービス]に読み込んだ段階で無視さ れ、原位置試験情報として登録されません。
- ③ 試験名を[孔内水平載荷試験][透水試験][PS 検層試 験]とした場合でも[K:その他の原位置試験]に登録 します。

#### (2) 入力補助

[K 原位置試験]タブで利用可能な入力補助機能について説明します。[原位置試験名]が入力補助対象となります。

 ① [入力補助]をチェック (√) すると、[入力補助・原 位置試験(ユーザ編集)]ダイアログが表示されま す。

×I		5-	€ -	а,̂ ∓ ко	-BOR簡易無償	賞エディタ_サンプ	ル.xlsm [読み	取り専用] - Excel	? 🛧	- 🗆	×
771	ับเ	ホーム	挿入	ページレ	(アウト 数式	こ データ 杉	调表示	開発 ACROBAT	<i>∓−</i> ⊿	-	
B5		Ŧ	1:[	XV	<i>fx</i> 4.8						~
	A		в	с		D			E		F 🔺
1	(°°	2	セル	挿入して	ル削除	入力補助	操作説明	[開始深度]未   煮視され、登録	入力・数値」 隷れません	以外は /。	
2	No	開始	ì深度 m	終了深度 m		原位置試験	名	試験	兼結果等		
4	1		2.10	2.80	透水試験			K=0.123cm/s			
5	2		4.80		孔内水平載	成荷試験		E=10185kN/m <sup>2</sup>			
6	3										
7	4										
8	6										
10	7										
11	8										
12	9										
13	10	_									-
4	•				入力補	助·原位	置試験名	(ユーザ編集	)		×
準備	完了	SC									
					選択解除	リスト愛	録しり	スト削除   ↑	↓   □	編集中	'
			<u> </u>								~
			透	小試験	Johax.						
圖	π										
- 笠	碌										
に	$\supset$										
. + ~ !	0										
14.	9										
L ,	_										
IJ• <u>)</u>	泉		200	3 40 78 - 5	2 I.m.P	C 184-	I Even		b1∞±.		
th:	ŧ		豆	永処理:[(	• 上書ぎ	い追加	I • [KCBS	iEE原位置試験:	名.txtJの内	谷を表示	
-1 0	5										

- ② 入力補助機能によりデータを入力したいセルを選択しておきます(複数セルの選択が可能です)。
- ③ 選択リスト内の項目をクリックすると、選択したデータが選択セル欄に入力されます。
- ④ [選択解除][リスト登録][リスト削除][↑][↓][編集中]は[A 標題]タブの入力補助と同一です。

### 8.8.[L 試料採取]

#### (1)入力項目

- 電子納品要領「L 様式:試料採取」項目を入力します。
- ① [開始深度(m)]=[採取区間:上端深度(m)]、[終了深度(m)] =[採取区間:下端深度(m)]、[試料番号]、[採取方法]、 [試験名]をキー入力します。[採取方法]はリスト選択も可能です。
- ② [開始深度(m)]を未入力あるいは数値以外を入力した場合は、[ボーリングデータ作成サービス]に読み込んだ段 階で無視され、試料採取情報として登録されません。

×∎		5 ° ° '	<u>à</u> , =				KC-BOR簡易無償I	ディタ_サンプル.xlsr	n - Excel								? 📧		×
771	JL	ホーム お	奉入 ページ レイアウト	数式 データ	校腿	表示 開発	ACROBAT	F-L											
B4		<b>-</b> :	X 1 fr 1																~
				I			E		-	6	н	т	1	V		м	Ν	0	
	A .	•					-		「 【開始深】	夏」木人ノ	「叙祖以	クトレネ 悪伤	व्या, इ	क्रियादा	zn.	191	IN	0	P 🔺
1	6		挿入 セル削除	☑ 入力補助	N値情報	取得操	作説明		マクロを: オ	無効とした	:場合、[1	2ル挿入]	[セル肖耶	創はセル	範囲を選	択しドラッ	グ&ドロ	ッブしま	
2	No	開始深度 m	終了深度 m	試料番号			採取方法		試験名 ∩1	試験名	試験名	試験名 ∩4	試験名	試験名	試験名	試験名	試験名	試験名	
4	1		1.67 T-1			固定ビストンス	ギ(エクステンパンョン/	コッド 式 )	0.	02					0.	00			
5	2	2.60	3.40 51-2			ロータリー式日	三重管サンプラー	- 21 - 20	含水	比重									
6	3	4.15	4.45 D-2			標準貫入試驗	(												1
7	4	5.15	5.45 D-3			標準貫入試驗	6												1
8	5	6.15	6.45 D-4			標準貫入試驗	÷												
9	6	7.15	7.45 D-5			標準貫入試驗	è												
10	7	8.00	8.60 T-2			ロータリー式コ	二重管サンブラー(デ	<u>ニソン)</u>											
11	8	9.15	9.45 D-6			標準貫入試驗	ę												
12	9																		
13	10																		
14	10																		-
15	13																		
17	14																		
18	15																		1
19	16																		1
20	17																		
21	18																		
22	19																		
23	20																		
24	21																		
25	22								_										-
16	721	A 槽	題 BCDFメイン	E1 N值 K 原位	置試験	L試料採取	P 孔内水位   01 掘	削工程   01 #	t (+)	: •									
編住		27												Ħ	i i i i i i i i i i i i i i i i i i i			-+ 10	10%

#### (2) N 值情報取得

[E1 N 値]タブに入力済みの[開始深度(m)][終了深度(m)]を取得できます([採取方法]は[標準貫入試験]となります)。

- ① N 値情報取得機能によりデータを入力したい開 始セルを選択しておきます。
- ② [N 値情報取得]をクリックすると、[E1 N 値]タ ブに入力済みの[開始深度(m)][終了深度(m)]を 取得し、開始セル以降に登録します。

#### (3) 入力補助

[L 試料採取]タブで利用可能な入力補助機能について説明します。[採取方法][試験名]が入力補助対象となります。

- ① [入力補助]をチェック(✓) すると、[入力補助・ 採取方法/土質試験名]ダイアログが表示されま す。
- ② 入力補助機能によりデータを入力したいセルを 選択しておきます(複数セルの選択が可能です)。
- ③[採取方法(ユーザ編集)]~[土質試験(ユーザ 編集)]タブをクリックし、選択リスト内の項目 をクリックすると、選択したデータが選択セル 欄に入力されます。
- ④ [選択解除][リスト登録][リスト削除][↑][↓][編集
   中]は[A 標題]タブの入力補助と同一です。

#### 8.9.[O1 地質時代区分] (1)入力項目

電子納品要領「O1 様式:地質時代区分」のうち、実際に柱状図に表示される項目に絞って入力します。

- (1) [開始深度(m)]=[区間深度:上端深度(m)]、
   [終了深度(m)]=[区間深度:下端深度(m)]、
   [地層時代名]をキー入力します。
- ② [開始深度(m)]を未入力あるいは数値以外 を入力した場合は[ボーリングデータ作 成サービス]に読み込んだ段階で無視さ れ、地質時代区分情報として登録されま せん。
- (2) 入力補助

電子納品要領[O 地質時代区分]タブで利用 可能な入力補助機能について説明します。[地 層時代名]が入力補助対象となります。

- ① [入力補助]をチェック(√)すると、[入力 補助・地層時代名]ダイアログが表示され ます。
- ② 入力補助機能によりデータを入力したい セルを選択しておきます(複数セルの選 択が可能です)。
- ③ [地層時代名(ユーザ編集)]か[地層時代 区分]タブをクリックし、選択リスト内の 項目をクリックすると、選択したデータ が選択セル欄に入力されます。
- ④ [選択解除][リスト登録][リスト削除][↑][↓][編集中]は[A 標題]タブの入力補助と同一です。





入力補助・地層時代名
地層時代名(ユーザ編集)   地層時代区分
「選択解除」 リスト登録 リスト削除 ↓ ↓ □ 編集中
沖積層 洪積層 第三紀
・カレントフォルダ内の[KOBSEE地層時代名.txt]の内容を表示
登録処理:[ ④ 上書き 〇 追加 ]

# 9. ボーリングデータ作成サービスの利用

日報支援システムファイルを Kiso-Cloud 「ボーリングデータ作成サービス」に読み込むことで、CALS 電子納品用デ ータ(XML 形式)および柱状図(PDF 形式)に変換することが可能です。

- Ver.3 では CALS3 形式データおよび JACIC 様式柱状図に変換されます。
- Ver.4 では CALS4 形式データおよび CALS4 様式柱状図に変換されます。
- [KC-BOR 作業日報エディタ.xlsm]は Ver.3/4 共に読み込むことが可能ですが、[KC-BOR 作業日報エディタ 4.xlsm] は Ver.4 での読み込みのみとなります。 ただし、[KC-BOR 作業日報エディタ.xlsm]のコード体系は CALS4 形式とは微妙に異なるため、CALS4 形式デー タおよび CASLS4 様式柱状図を取り扱う場合は、[KC-BOR 作業日報エディタ 4.xlsm]の利用をお勧めします。

● ボーリングデータ作成サービスの詳細は、各サービスのマニュアルを参照して下さい。

- Ver.3 : https://kiso-cloud.com/ggs/Manual/ManualTjEdit.aspx Ver.4 : https://kiso-cloud.com/ggs/Manual/ManualTjEdit4.aspx
- 「ボーリングデータ作成サービス」 において[ファイルを開く]をクリ ックします。
- アップロードするファイルの選 択)ダイアログにおいて、名前を 付けて保存した Excel ファイル を指定し[開く]をクリックします。
- 3 指定データを読み込み Web ブラ ウザに表示します。

🔶 🕤 🖓 BorEdit/Boring/BorEdit.	aspx 🔎 - C	🖚 Kiso-Clou	Jd	×			$ ightarrow \star$	₿
Kiso-Cl	OU	d® 7	ボー ge	-リングデータ作成サービス otechnical & geospatial SaaS		kiso-cloud@	kiso.co.jp ( ユーザ情報	52) 7
新規 ファイルを開、 ファイルを開、 ファイルを開、 ファイルを開、 ファイルを開、		↑ 📙 > PC >	> OS	(C) > KC-BOR作業日報	ڻ ~	KC-BOR作業日報の核	e, چ	×
地図 図表示 図保存 DXF	整理 ▼						• 🔳 🕻	)
			^	名前	更新日時	種類	サイズ	^
・本サービスは、地質調査データ	>			➡ BorDayrepManual 日報.pdf	2019/05/16 12:13	Adobe Acrobat D	1,801 KB	
→ クラウドならではの機能が満	>			KC-BOR作業日報.xlsm	2019/05/16 12:49	Microsoft Excel ₹	549 KB	
	>			💼 KC-BOR作業日報_サンプル.xism 🏼 🧹	2019/05/16 12:47	Microsoft Excel ₹	552 KB	
	>			自由 KC-BOR作業日報4.xlsm	2019/05/16 16:56	Microsoft Excel ₹	556 KB	
				BC-BOR作業日報4_サンブル.xlsm	2019/05/16 16:55	Microsoft Excel ₹	559 KB	
				📄 KCBSEEエンジン.txt	2016/02/17 21	テキスト ドキュメント	1 KB	
	, odf			■ KCBSEEポーリング名.txt	2016/08/07 10	テキスト ドキュメント	1 KB	~
	_ pur		× 1	:			>	
		ファイル名	5 ( <u>N</u> ):	KC-BOR作業日報_サンプル.xlsm	~	すべてのファイル (*.*)	~	
t2E						開<( <u>Q</u> )	キャンセル	]

# 10. 柱状-BASE.NET の拡張

日報処理において多く求められる「日毎の柱状図」を簡単に作成するため、[Q1:掘削工程]情報から調査期間と柱状図出力範囲を簡単に設定できる機能を追加しました(Ver.1.0.2.4~)。

- ① [Q1:掘削工程] において、調査期間および柱状図出力範囲を設定したい行を選択します(複数行の指定が可能)。
- ② [調査期間・出力範囲]設定ボタンをクリックします。

③ 調査期間と出力範囲を抽出し確認用ダイアログを表示するため、設定する場合は[はい]をクリックします。

- > 調査期間:開始年月日は、選択行の測定年月日の最小値とします。
- > 調査期間:終了年月日は、選択行の測定年月日の最大値とします。
- ▶ 削孔深度:開始深度は、(削孔深度=終了深度の為)選択行の削孔深度の最小値より1データ分浅い深度を抽出します(抽出できない場合は0.0とします)。
- > 削孔深度:終了深度は、選択行の削孔深度の最大値とします。
- ④ [A 標題]の、調査期間・出力範囲が設定されます。

🙈 柱状-BASE.NET 入力編集	機能(レンタル版)		– 🗆 X.
ファイル(E) 編集(E) 編集項目(E) レイアウト(L) 社状図(B) ツール(E) ヘルブ(H)			
〕 ● 🖶 🗄 🖷   × 名 注 조 조 名 写 ♀ ☆ ☆ 🏦 🖉 🖛 💭 🖓 🖓 🖗 🕑 🕼 🕼 🏤 🍁 🌿 🏙 副 素 📑 🖌 🚺 📀 📀			
A様式:標題情報(O様式:	基礎情報)	▲ <sup>1</sup>	Q1様式: 削孔工程 🗸 🗸
0様式:公開フラグ	● 0:公開不可 ○ 1:公開可 公開不可の場合の理由		[調査期間・出力範囲]設定 🥺 リングの削孔]
A様式:標題情報		18 BB	No 測定年月日 削孔深度 ケーシング ヘ
事業・工事名	00川00水門建設工事	本	1 2019/01/01 150
調査名	平成27年度〇〇水門地盤調査業務委託	● 「「「湯」は 晋子 項目のの記へ ● 子納品する場合は「河 口標高	2 2019/01/02 8.45 2.00
調査目的・調査対象	調査目的 🔹 調査対象	▼ 基準1はT.P.あるいはプランク	3 2019/01/03 20.80 2.00
ボーリング名・本数	H30B-3 ポー	[調査期間·出力範囲]設定 × × ×	4 2019/01/05 30.45 23.00     5 2019/01/06 ▲ 36.45 23.00
地理院室	東経 139度49分12.8700秒 北緯 35度41分42.9700秒 取得		6 2019/01/08 🗸 45.45 23.00
経度・緯度 地図~	読取精度 2:1/100秒(約30cm)まで(小数部2桁) < 測 ま	と記入	7 2019/01/09 50.50 23.00
調査位置	2 th   直京都江直区备戸1丁日5-7	· 調査期間:開始年月日=2019/01/08	9 2019/01/10 00.33 23.00
然注縊明		調査期間:終了年月日=2019/01/09	10 2019/01/12 65.00 23.00
調査期間	2019/01/08 高・ ~ 2019/01/09 高・ 開始・終了日	前孔深度:開始深度=36.45 削孔深度:終了深度=50.50	11 12
Distantial Cart		おりに休及・祝り休及-50.50	13
			14
	■ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		16
調査会社	現場代理人 氏名 基礎太郎		17
	コア護定者 氏名 基礎二郎 ・		18
	ポーリング責任者 氏名 基礎太郎	・ 七月初旦12上豆芽世ケ 0	20
	電子納品管理者 氏名	」 地質情報管理士登録番号 7 ◎ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	21
	標高(m)	3.75 🔄 総削孔長(m) 🔄 柱状図縮尺 1/	22
基本情報	柱状図様式の種類 12:土質ボーリング柱状図様式 (標準貫入)	- 熱度 0.00 字 方位 0.00 字 地盤勾配 0.00 字	24
試錐機	名称 KR-50 • 能力	(m級) 方法 🔹 出力範囲	25
エンジン	名称 NS80 ▼ 能力	(整数)単位 上端深度 下端深度	27
ポンプ	名称 Y-3 • 能力	(整数) 単位 4 日間 4 日	28
櫓種類	コード 24称	▼ 下端深度省略時:自動設定	30
A:標題 B:地質土質[C:色調	D1:記事 E1:貫入試験 F:密度稠度 K:他原位置 L:試料採取 N	:地盤材料 01:地質時代 P:孔内水位 Z:フリー	Q1:削孔工程
C-¥KC-BOR作業日報¥KC-BOR作業日報4 サンブルxml			

## 11. スマホ・タブレットによる現場入力と情報共有(ご提案)

本機能の目的は前述したように「使い慣れた Excel を使ってボーリング作業日報を電子化!!」することですが、もう1つ・・・Excel ベースとした理由に「スマホ・タブレットを使って調査現場でボーリング作業日報を作成!!」 があります。

Microsoft Excel は Windows PC のみではなく、非常に広範なスマホ・タブレットで動作します(iOS・Android ではマクロ機能が利用できませんが・・・)。しかも 10.1 インチ以下の端末では無償利用が可能です。

さらに移動体通信網の発展(4Gから5Gへ)や、(無償の)各種クラウドストレージサービス(OneDriveやDropbox など多数)の充実により、「現場サイドでのデータ入力と情報共有」が非常に現実的になっています。





マクロは利用できないので便利機能は使えませんが、データ入力そのものは問題ありません。



Memo

